

平成22年3月18日

政策評価(事業評価)中間報告書

1 はじめに(中間報告書の趣旨)

宮内庁では、政策評価基本計画を踏まえ毎年度作成する政策評価実施計画に基づき政策評価を実施しており、平成20年度から平成22年度にかけて「宮内庁の広報活動の推進」について事業評価を行うこととしている。

本報告書は、平成22年度に実施する総括的な評価(事後評価)に向け、平成20年度中の取組(実施事業:宮内庁ホームページの改修)について、中間的な取りまとめを行うものである。

2 政策評価の対象とした政策(平成20年度宮内庁政策評価実施計画)

- (1) 政策名 宮内庁の広報活動の推進
- (2) 担当部局名 長官官房秘書課, 長官官房総務課
- (3) 目標 宮内庁ホームページを充実し、皇室に対する国民の理解が一層深まるよう関連する情報の提供に努める。
- (4) 評価実施期間 平成20年度, 21年度, 22年度(平成20年度及び21年度については中間報告を行い、平成22年度において評価を総括する)

3 事業の内容

- (1) 平成20年度に実施する主な事業(ホームページの改修)
 - ・基本デザイン設計
 - ・新たなHTML制作
- (2) 平成21年度に実施する主な事業(ホームページの充実)
 - ・英語版の英文の見直し
 - ・掲載情報の見直し・充実
 - ・サイト閲覧支援機能の追加(音声読み上げソフト等の導入)
 - ・FAQ機能追加
 - ・天皇陛下御即位20年記念の特集コンテンツ等の掲載

3 平成20年度における事業の実施状況

宮内庁ホームページは、天皇皇后両陛下始め皇族方のご活動や皇室制度等を国民に紹介しており、平成11年7月の開設当初より掲載内容の増加に努力していたところである。しかし、開設以来約10年が経過し、閲覧者による必要情報の検索等の利便性、当庁職員によるデータ更新時の操作性の点で必ずしも十分に対応できているとは言い難い面が発生していた。また、近年提起されている高齢者や障害者への配慮、い

わゆるウェブ・アクセシビリティについても、対応できているとは言い難い状況であった。

このため、平成20年度の事業として、閲覧の利便性の向上等に向けた、宮内庁ホームページの抜本的な改修を行った。

具体的な方策は以下のとおりである。

(1) 庁内における検討

これまで掲載情報の増加ごとにトップページにリンクを追加してきた結果、縦スクロールの非常に長いトップページとなってしまい（参考資料1）、操作や情報の検索に著しい利便性の低下が見られるようになったため、トップページのデザイン刷新と掲載情報の分類見直しが最優先課題に挙げられた。

また、「行政情報の電子的提供に関する基本的考え方（指針）」（平成16年11月12日 各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）等で求められている、高齢者や障害者への配慮も十分とは言えなかったため、この点も重点的な見直し対象とした。

なお、平成20年度はこれらの課題に対応するためのホームページの改修を行うことを優先し、掲載情報の充実については平成21年度に重点的に実施することとした。

(2) ホームページの改修に向けた事前の取組

① 宮内庁における改修・充実の考え方

ホームページの改修・充実にあたっては、庁内における検討に加え、民間の専門事業者による調査・分析（コンサルティング）を実施し、より客観的かつ具体的な改修案策定に努めた。

コンサルティング実施にあたり、宮内庁から委託事業者に提示した基本的な考え方は次のとおりである。

〔ページデザイン等〕

ア トップページのデザインや掲載事項を見直し、冗長さを軽減してより見やすくする。また、閲覧者が得たい情報に効率的にアクセスできるようにするとともに、宮内庁として積極的に周知・広報したい内容へもアクセスしやすくする。

イ ホームページの構成及びデザインについては、目的とする情報への到達のしやすさ、閲覧における効率性の向上、閲覧中の位置のわかりやすさ等の向上を図る。

ウ ホームページのデザイン、特にトップページについては、皇室のご活動や文化などを紹介するという目的にふさわしいものとする。

〔アクセシビリティ〕

エ 視覚障害者をはじめとする、障害等によりホームページの閲覧が困難な方への配慮をはかる。

〔掲載情報の更新・追加〕

オ 今後も職員が継続的に更新を行っていくため、運用・管理のしやすさにも

配慮する。

② 専門事業者によるコンサルティング

①の基本的な考え方に則って、宮内庁ホームページ改修・充実に伴うコンサルティング業務を発注した。発注にあたっては、一般競争入札を実施し、彼方(株)と業務契約を締結した。平成20年6月11日から同7月31日までを期間としたコンサルティングにおいて、同社から以下のような評価があった。

〔ページデザイン等〕

ア 統一されたページテンプレートにてサイト全体を構築している。またヘッダには一貫したブランド・アイデンティティを付すなど、視覚要素の統一が必要である。

イ 情報を体系化し、サイト内共通メニューなどのナビゲーション要素やパンくずリストなどの階層／経路情報を示すことなどで、情報検索性が向上する。

ウ 現状の標準的なウェブ規格・仕様に即していないページが数多く見られるが、正しい又は効率的な情報取得の妨げともなり得るため、改修時の適切な実装が必要である。

〔アクセシビリティ〕

エ アクセシビリティについては、宮内庁サイトの幅広いユーザ層に配慮し、JIS X8341-3 「5. 開発及び制作に関する個別要件」の必須／推奨項目に対応する必要がある。

〔掲載情報の更新・追加〕

オ 運営担当者のスキル（属人性、専門性）や知識に依存することなく、安全・迅速・簡易に情報発信を実現するためのページ制作／管理システム（CMS）を導入することも、質平準化、安定運営管理に有効である。

〔その他〕

カ 新着情報のRSS（Rich Site Summary）配信機能を追加することで、よりユーザ誘引強化に有効である。

（3）改修前の事前アンケートの実施

専門事業者によるコンサルティングに加え、現状の宮内庁ホームページに対する国民からの印象や要望を把握して改修に反映させることが真の国民サービスにつながるとの観点から、意見公募の手法として、国民を対象とするアンケート調査を実施した。

＜調査概要＞

調査方法：インターネットを活用したモニター調査

調査期間：平成20年9月18日（木）及び19日（金）

モニター：都内在住の国民 500人

性別及び年代（20代/30代/40代/50代/60代以上）ごとに均等配分
（50人×性別2×年代5＝500人）

実施機関：株式会社ネットマイル（民間リサーチ会社）

<調査結果から伺える傾向分析>

- ア 見劣りのするデザインである。
- イ 掲載情報の分類・整理が不十分である。
- ウ シンプル故に、結果的に不便・不都合が目立たない。
- エ 宮内庁ホームページの閲覧動機は、施設参観が最も多い。
- オ 動画掲載のニーズは必ずしも高くない。
- カ 宮内庁ホームページを見たことがない人が多数。

(4) 改修方針

コンサルティングにより指摘を受けた事項とアンケート調査結果から窺える傾向分析はほぼ合致しており、国民の視点から検討しても、改めて再度検討を要するような事項はなかった。

そこで、アンケート調査及びコンサルティングの結果を踏まえ、平成20年度に実施するホームページの改修にあたっての基本的考え方及び具体的な改修点を以下のように策定した。

なお、平成21年度に実施する予定であったウェブ・アクセシビリティについては、先行して平成20年度に改善することとした。

<改修方針>

〔ページデザイン等〕

- ア 現在の掲載内容は原則そのままとし、デザインとページ構成の見直しを主眼とする。
- イ デザインは華美に走らず、皇室の伝統と格式にふさわしいものとする。
- ウ 閲覧者が得たい情報に効率的にアクセスできるよう、情報の再分類・整理に努める。

〔アクセシビリティ〕

- エ 特定の層に偏らず、あらゆる閲覧層が容易に情報を取得できるよう留意する。

〔掲載情報の更新・追加〕

- オ 職員が継続的に更新を行っていくことができる技術水準であることに留意する。

(5) ホームページ改修の実施

改修方針に則って一般競争入札を実施し、落札者である日本コンピュータ・アーツ(株)に改修作業を委託した。作業は平成20年12月12日に開始し、平成21年3月18日に改修された公開用ファイルが納品された。

改修方針に基づく具体的な改修点を全て盛り込んだファイルを、宮内庁において最新状態にした上で、平成21年3月31日午前0時より刷新作業を開始し、

同日午前2時頃にリニューアルされた宮内庁ホームページを公開した（参考資料2）。

<具体的な改修点（結果）>

〔ページデザイン等〕

- ア トップページ及び配下ページのデザイン刷新（英語版含む）
- イ 掲載情報の再分類・整理（メニュー化）
- ウ トピック的な写真をトップページに掲載（新たな行事等ごとに更新）
- エ 経路情報の新設
- オ 基本機能のヘッダー及びフッターへの集約化
- カ ページ書式の統一化

〔アクセシビリティ〕

- キ 文字サイズ変更機能の実装
- ク 音声読み上げ機能に対応するためのファイル改修（全ページ対象）

〔掲載情報の更新・追加〕

- ケ ページ作成用テンプレートの制作

〔その他〕

- コ RSS配信による更新情報の提供

※ 平成21年度においてウェブ・アクセシビリティの改善（サイト閲覧支援機能の追加）として、音声読み上げソフト等の実装を検討していたが、閲覧者自身が使用するソフトが円滑に機能するようファイルを改修することにより、閲覧者の利便性を確保した。

4 平成21年度における取組

平成20年度においては、宮内庁ホームページのトップページを中心に改修を実施し、掲載情報については、改修前のものをそのまま利用したところである。

平成21年度においては、掲載情報について再検討を行いコンテンツの充実を図るとともに、ウェブ・アクセシビリティについても更なる充実を図り、国民に提供する情報の内容の向上を進め、皇室に対する国民の理解と関心の促進に努めることとする。



宮内庁ホームページは、ブラウザのJavaScript設定を有効にしてご覧ください。

掲載お写真から お写真一覧

「財団法人結核予防会創立70周年記念第60回結核予防全国大会」でおことばを述べられる天皇陛下(平成21年3月18日)

新着情報 これまでの一覧

- 皇后陛下のご体調について(平成21年3月24日発表)
- 天皇陛下のおことば(財団法人結核予防会創立70周年記念第60回結核予防全国大会:平成21年3月18日)
- 天皇皇后両陛下のカナダ国及びアメリカ合衆国御訪問について(平成21年3月13日閣議決定)

お知らせ これまでの一覧

- 宮内庁ホームページのリニューアルについて(平成21年3月31日)
- 天皇皇后両陛下御結婚満50年一般参賀について(平成21年4月10日)
- 天皇皇后両陛下御結婚満50周年記念京都御所特別公開の実施について(平成21年4月23日～4月29日)
- 三の丸尚蔵館第49回展覧会「国の花、華やぐ」(平成21年3月28日～6月14日)
- 平成22年歌会始のお題及び詠進要領(平成21年1月15日発表)

皇室関連報道について

このホームページは、天皇皇后両陛下・皇族方の宮殿・御所などのご公務や国内各地へのお出まし、外国とのご交際など皇室のさまざまなご活動を中心に紹介しています。皆様が積極的に利用され、皇室のご活動や皇室の文化などへの理解を一層深めていただければ幸いです。
(検索機能は現在調整中です。)

| | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 皇室 <ul style="list-style-type: none"> 構成 ご略歴 制度 ご公務など 皇室関連施設 歴代天皇陵の案内 (別ウインドウで開きます) 皇室のご活動 <ul style="list-style-type: none"> ご活動について ご日程 天皇皇后両陛下 皇太子同妃両殿下 文仁親王同妃両殿下 ご近影 お写真・ビデオ | <ul style="list-style-type: none"> おことば・記者会見 <ul style="list-style-type: none"> 天皇皇后両陛下 皇太子同妃両殿下 文仁親王同妃両殿下 皇室に伝わる文化 <ul style="list-style-type: none"> 講書始 歌会始 雅楽 蹴鞠 古式馬術(打鞠・母衣引) 鴨場 御料鶴飼 正倉院宝物紹介 (別ウインドウで開きます) | <ul style="list-style-type: none"> 参賀・参観・申込 <ul style="list-style-type: none"> 一般参賀 <ul style="list-style-type: none"> 参観など 参観案内 (別ウインドウで開きます) 皇居東御苑 <ul style="list-style-type: none"> 花だより 三の丸尚蔵館 <ul style="list-style-type: none"> 第49回展覧会 正倉院「正倉」外構 京都御所一般公開 申込要領 <ul style="list-style-type: none"> 皇居勤労奉仕 歌会始の詠進要領 秋季雅楽演奏会 吹上御苑自然観察会 |
| <ul style="list-style-type: none"> 宮内庁 <ul style="list-style-type: none"> 宮内庁について 各種申請手続 窓口案内 公表資料等 入札公告等調達情報 広報・報道 職員採用 | | |

